

3 原爆被爆者対策事業

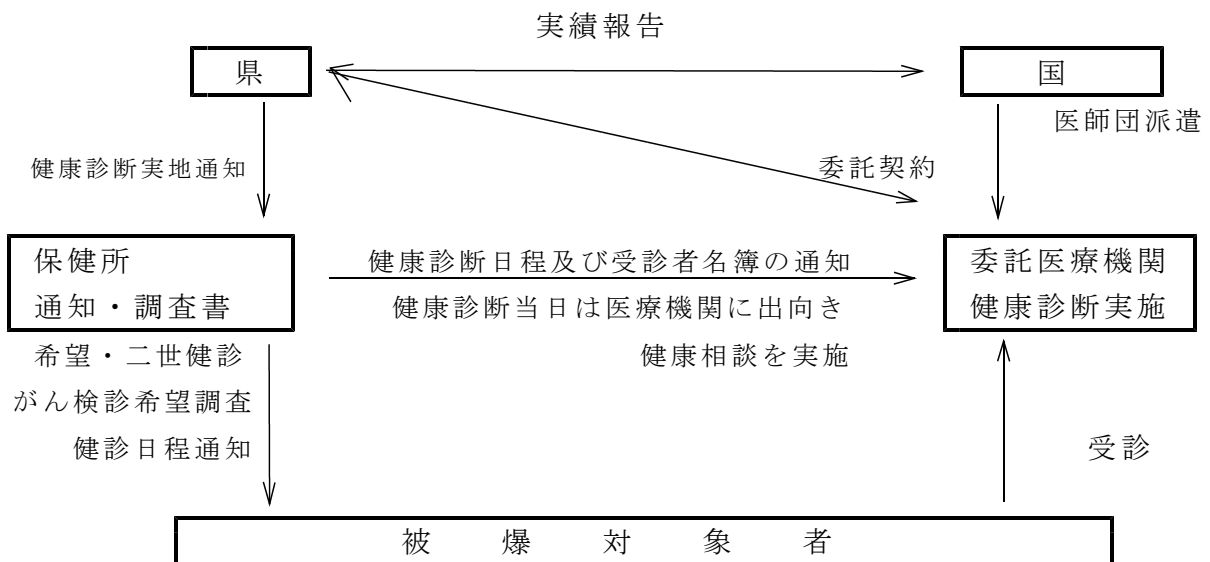
県は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき健康診断及び医療の給付並びに諸手当の支給を講じている。保健所における原爆被爆者対策としては、健康診断等に関する事業を行い、健康相談等をとおして被爆者の健康管理につとめている。

平成17年3月末現在県内には264人の被爆者がおり、そのうち南部保健所管内在住者は38人で14.4%となっている。

1) 事業の内容

(1) 健康診断に関する業務

| | | |
|-----------|-----|---------------------|
| 前期健康診断 | 5月 | 厚生労働省派遣医師団による健康診断 |
| 後期健康診断 | 12月 | 委託医療機関（那覇病院）による健康診断 |
| 希望による健康診断 | 2月 | |
| 二世健康診断 | 年1回 | |



(2) 健康相談及び訪問相談

前期及び後期健康診断実施場所にて希望者に対し、健康相談を実施するほか随時相談を受け付ける。又、健康診断未受診者に対しては受診勧奨をしたり、必要時、検診後の訪問指導を実施する。

(3) 被爆者手帳に関すること（新規、事項変更の申請等）

新規申請・住所変更・再交付・返納（死亡等による）

表1 平成17年度管内被爆者健康診断受診

| | 対象者数 (人) | 受診者数 (人) | 受診率 (%) | がん検診受診状況 | | | | | |
|------|-------------|-------------|------------|----------|---|---|----|----|------------|
| | | | | 胃 | 肺 | 乳 | 子宮 | 大腸 | 多発性 骨髄腫 |
| 前期健診 | 39 | 20 | 51.3 | 5 | 4 | 0 | 1 | 8 | 3 |
| 後期健診 | 38 | 16 | 42.1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 希望健診 | 38 | 3 | 7.9 | | | | | | |
| 二世健診 | 3 | 0 | 0 | | | | | | |

